

撮影：蒲原教雄（デジカメクラブ）、撮影場所：夜宮公園（戸畑区）
撮影者コメント：区民の憩いの場であり、梅、桜、菖蒲、つつじと四季折々の花を楽しめます。

目次／Contents

- 1 **整形外科からのお知らせ**
～整形外科 鮫島 秀一 医長～
- 2 **特集 新型骨密度測定装置導入！**
新任ドクター紹介
- 3 **旬の味だより・JR九州病院のご案内**

整形外科からのお知らせ

鮫島 秀一

JR九州病院 整形外科 医長



1. 東5階新病棟開設

平成21年3月末までは西4階を外科・泌尿器科・整形外科の混合病棟としていましたが、1病棟のみでは多数の入院患者さんで満床になるような状態でした。そのため、早期退院をお願いしたり、症状の落ちついた患者さんにはやむをえず他の病棟へ移動してリハビリテーションを継続していただくなど、入院患者さんにご迷惑をおかけすることがしばしばありました。

その点を改善すべく、介護病棟として使用しておりました東5階を、急性期・亜急性期の加療に対応できるよう全面改装し、4月1日より整形外科、眼科病棟として稼働できることと相成りました。これにより、医学的見地から時間をかけて入院治療が必要と認められる患者さんへの対応が、同じ病棟で最長90日までは可能となりますので、殆どの患者さんは病棟を変わることなく治療に専念できるようになります。

2. 骨粗しょう症外来・骨粗しょう症検診の開設

骨粗しょう症とは、「骨の量的な減少に加え、質的劣化を伴うことで骨がもろくなり、骨折の危険性が增大する疾患である」と定義されます。

骨粗しょう症は、骨の強度が減少した結果、骨折しやすい状態を伴います。骨折すると疼痛を伴うことはもちろん、日常生活の質を損ないます。また一度骨折すると、活動性の低下や老化をいっそう進行させ、寝たきりの状態になる危険性が高まります。

骨粗しょう症は、カルシウムの摂取量が少ないといった食生活に関するものをはじめ、加齢に伴い生じる様々な原因によるカルシウム吸収能力の低下、骨形成能力の低下などにより生じます。特に、閉経後の高齢の女性や他疾患治療のためステロイドを使用されている方に、骨粗しょう症の発生率が高くなっています。

現在、治療には各種内服薬(ビスホスフォネート・女性ホルモン誘導体・活性型ビタミンD・ビタミンK₂・カルシウムなど)・注射薬(カルシトニンなど)に生活習慣指導(食生活・運動療法など)を加えることにより、その進行を十分に抑えられることが知られています。したがって骨粗しょう症は不治の病ではなく、的確な診断により早期に治療を開始すれば、日常生活の質を向上させることができる疾患となりました。

当院で採用した「DXA(デキサ)」法というエックス線を用いた骨密度の測定は、その精度はもとより、測定部位も骨粗しょう症が起りやすい腰椎や大腿骨で行うことから、骨粗しょう症の診断において最も推奨されている機器の一つです。また体への被曝量も少なく、5~10分程度の短時間で終了する、比較的体への負担が軽い検査です。

この度、皆さんのニーズに応えるべく、この機器を用いた骨粗しょう症検診に加え、必要な場合には血液、尿検査も併用し、骨粗しょう症の加療を効率よく行うための骨粗しょう外来を行うこととなりました。是非ご利用ください。

骨粗しょう症外来

担当医	田中、鮫島、安田
診療日	毎週水曜日(午後)
受付時間	13時15分~16時00分
診療時間	13時30分~16時30分

※整形外科を受診されたことのある方は、前日までにご予約ください。

※ご予約のお電話は、13:00~15:00までの間にお願いいたします。

骨粗しょう症検診

検診日	毎週水曜日(午後)
受付時間	13時15分~16時00分
料金	1,260円(税込)



新型骨密度測定装置導入！

骨粗しょう症は、日本人をはじめとして、人類全体が最もかかりやすい病気の一つです。近年、二重エネルギーX線吸収法(DXA)などで精密に骨密度が測定できるようになり、日本人の約1,000万人が骨粗しょう症で、現在は症状が出ていなくても、いずれ腰痛や骨折を起こす危険性が高いと言われています。

骨密度測定は、装置の性能・測定部位により異なります。『骨粗鬆症の予防と治療に関するガイドライン-2006年度版』に「すべての骨密度測定法は、あらゆる骨粗しょう症の骨折リスクを予知するのに役立つが、躯幹骨二重エックス線吸収法(DXA)は、骨折のリスクをよく反映する椎体や大腿骨計測に最も良い適応であり、骨粗鬆症の診断に最適な測定法である。」と記されています。

つまり、「骨密度は、DXA法で腰椎と大腿骨を測定する事が最適である」ということです。骨粗しょう症がご心配の方、興味のある方、是非この機会に検査を受けられてはいかがでしょうか？



骨密度測定装置
PRODIGY - Primo

詳しくは骨粗しょう症外来(整形外科)、もしくは中央放射線室にお尋ねください。



新任ドクター紹介

4月より、内科・外科・整形外科に4人のドクターが赴任しました。

内科 浅海 洋(あさうみ ひろし)



4月から内科で勤務している浅海と申します。

内科一般を担当しておりますが(日本内科学会認定医)、中でも消化器を専門としています(日本消化器病学会専門医)。当院では内科診療、内視鏡検査などを担当しております。

患者さんの病気や、検査に対する不安を少しでも取り除きたいと思い、わかりやすく丁寧な説明、医療を実践すべく頑張っていきます。どうぞよろしくお願い致します。

内科 千手 倫夫(せんじゅ みちお)

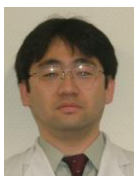


4月から内科に勤務することになりました千手です。これまでは、産業医科大学病院等で、腹部内科を中心に勉強してきました。

JR九州病院では内視鏡を使つての検査、治療などの診療をさせていただきます。

患者さんに負担の少ない医療を心がけ、門司地区の地域医療に微力ながらお役に立てればと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

外科 自見 政一郎(じみ せいichろう)



4月に国立小倉医療センターより赴任しました自見です。今まで九州大学病院、原三信病院、北九州市立門司病院、宮崎大学第一外科で勤務していました。

胃、大腸といった消化管、胆石、乳がん、ヘルニアの手術や腹腔鏡手術を担当しています。日本癌治療学会認定医・暫定教育医であり、消化器癌、乳癌の化学療法も専門にしていますのでご相談ください。

整形外科 安田 廣生(やすだ ひろお)



4月より整形外科にて勤務している安田です。北九州市出身です。

以前は北陸で整形外科および形成外科を学んでまいりました。九州へは2年ほど前より戻ってくるのができ、九大病院、吉塚林病院、九州医療センターと主に福岡市内の病院に勤務しておりました。

このほどようやく地元に戻ってくるのができ、今まで学んできたことを活かしてこれからも頑張っていくと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

旬の味だより

この季節にピッタリのお料理をご紹介します♪

アスパラガスのパスタ



【1人あたりの栄養成分】

カロリー:537kcal たん白質:21.6g 塩分:1.5g

材料(2人分)

・アスパラガス	中3本	・オリーブオイル	大さじ2
・たまねぎ	1/2ヶ	・塩	小さじ1/3
・えび	6尾	・こしょう	適量
・にんにく	1片	・パルメザンチーズ*	適量
・スパゲティ	180g	※無くて可	

作り方

- ① アスパラガスは固めに茹でて、斜めにそぎ切りする。たまねぎは薄くスライスする。
- ② オリーブオイルとにんにくを火にかけ、オイルににんにくの香りがついたら①を入れて軽く炒める。
- ③ 茹でたスパゲティを②に入れ、ゆで汁を少し加えてあえる。
- ④ 塩とこしょうで味を整える。
- ⑤ 器に盛り、茹でたえびを盛り付ける。
※パルメザンチーズがあれば、ふりかける。

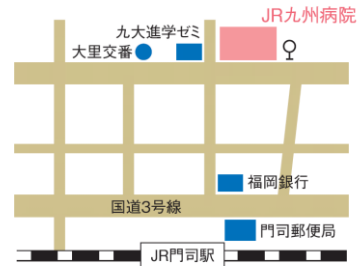
春野菜は緑色がきれいな野菜が多くありますよね♪
彩りよく調理して食べると、それだけで元気がもらえる気がします。

もちろん、本当にビタミン・ミネラルが豊富なんですよ！ぜひ春野菜を食べて、元気に過ごしましょう!!

JR九州病院 管理栄養士 佐伯 昌子



JR九州病院のご案内



〒800-0031 北九州市門司区高田2丁目1番1号

TEL (093) 381-5661

FAX (093) 381-1077

JR門司駅から徒歩5分/西鉄バス高田二丁目下車徒歩1分

JR九州病院 ホームページ

<http://www.jrkyushu-hospital.jp/>

JR九州病院

検索

【当院理念】

私たちJR九州病院は、安全で良質な医療サービスの提供を通じて、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

【当院基本方針】

1. 患者さんの安全と、安心できる医療環境の整備に努め、医学的根拠に基づいた良質な医療の提供を行います。
2. 患者さん、ご家族への説明と同意とともに、患者さんの意思と権利を尊重した医療を行います。
3. 医療連携を通じ、地域に開かれた中核病院として、医療の充実にも努めます。
4. 職員の相互理解とたゆまぬ研鑽を通じて、活気ある職場を目指します。
5. 医療資源の有効活用と健全な病院運営を行います。

編集後記

季節もよくなり、新年度がスタートしました。今年桜の開花が早かったのですが、皆さん桜の花は見られましたか？

お花見で花だけでなく花見酒にも酔った方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

春、桜の咲くこの時期は出会いの時期、スタートの時期でもあります。当院も東5階のリニューアル、ドクターを始め、新メンバーの加入がありました。

想(そう) 春号(通巻12号)
平成21年5月27日発行(季刊)
発行人:林田 一洋(JR九州病院 院長)

JR九州病院 広報委員会「つばめ」
副院長 亀井 隆史
事務長 梅田 純一
看護部 藤井 美司恵 上堀内 亮子 安成 康介
薬剤科 白江 泰代
中央放射線室 石井 佳人
リハビリテーション室 木部 竜也
中央検査室 有吉 大悟
医療連携室 谷川 浩司
総務課 吉田 利枝 福元 啓介

編集・発行:JR九州病院
北九州市門司区高田2丁目1番1号
TEL 093-381-5661
印刷:株式会社プリンティング有馬